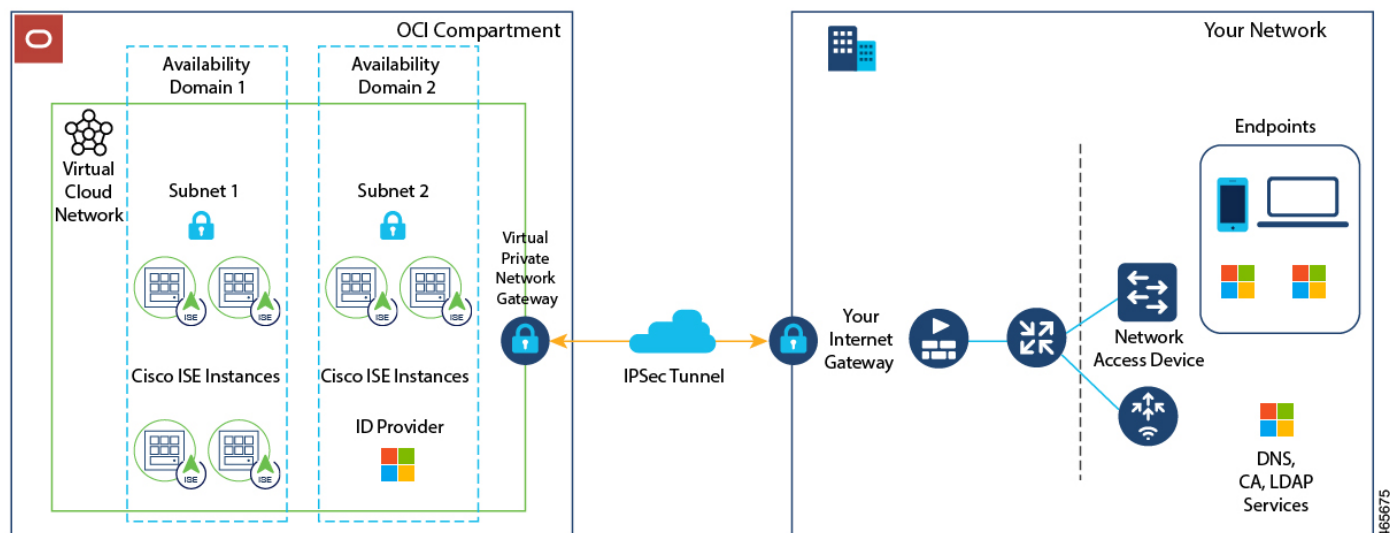


OCI 上の Cisco ISE インスタンスの概要

Oracle Cloud Infrastructure 上の Cisco ISE

Cisco ISE は、Oracle Cloud Infrastructure（OCI）でイメージとスタックの2つの形式で利用できます。Cisco ISE ユーザーが使いやすいようにカスタマイズされていることから、スタックタイプを使用して Cisco ISE をインストールすることをお勧めします。

次の図に Oracle Cloud に接続された展開の例を示します。



OCI で Cisco ISE を設定してインストールするには、OCI の特定の機能とソリューションについてよく理解しておく必要があります。開始する前に、コンパートメント、可用性ドメイン、イメージ、シェイプ、ブートボリュームについて理解しておいてください。

OCI は、コンピューティングリソースの単位として Oracle CPU（OCPU）を使用します。1つの OCPU は、2つの vCPU に相当します。詳細については、[Oracle Cloud Infrastructure のドキュメント](#)を参照してください。

重要

Cisco ISE インスタンスを作成するために既存の OCI イメージを複製しないでください。

Cisco ISE でサポートされる OCI インスタンス

Cisco ISE では次の OCI インスタンスを使用できます。

OCI インスタンスタイプ	OCPU	OCI インスタンスメモリ (GB 単位)
Standard3.Flex このインスタンスは、Cisco ISE の評価のユースケースをサポートしています。100 の同時アクティブエンドポイントがサポートされています。	2	16
Optimized3.Flex	8	32
	16	64
Standard3.Flex	4	32
	8	64
	16	128
	32	256

Optimized3.Flex シェイプは、コンピューティング最適化インスタンスです。これらのシェイプは、コンピューティング集約型のタスクやアプリケーションの PSN として使用するのに最適です。

Standard3.Flex シェイプは、PAN または MnT ノード、またはその両方としての使用に最適な汎用のシェイプです。これらのシェイプは、データ処理タスクとデータベース操作を目的としています。

汎用インスタンスを PSN として使用する場合、パフォーマンスの数値は、PSN としてのコンピューティング最適化インスタンスのパフォーマンスよりも低くなります。

Standard3.Flex (4 OCPU、32 GB) シェイプは、極小規模の PSN としてのみ使用する必要があります。

Cisco ISE リリース 3.5 以降、次の設定の Standard3.Flex インスタンスはサポートされていません。

- 2 OCPU および 16 GB メモリ
- 8 OCPU および 64 GB メモリ

OCI インスタンスタイプのスケールおよびパフォーマンスデータについては、『[Performance and Scalability Guide for Cisco Identity Services Engine](#)』を参照してください。

翻訳について

このドキュメントは、米国シスコ発行ドキュメントの参考和訳です。リンク情報につきましては、日本語版掲載時点で、英語版にアップデートがあり、リンク先のページが移動/変更されている場合がありますことをご了承ください。あくまでも参考和訳となりますので、正式な内容については米国サイトのドキュメントを参照ください。

翻訳について

このドキュメントは、米国シスコ発行ドキュメントの参考和訳です。リンク情報につきましては、日本語版掲載時点で、英語版にアップデートがあり、リンク先のページが移動/変更されている場合がありますことをご了承ください。あくまでも参考和訳となりますので、正式な内容については米国サイトのドキュメントを参照ください。